



八雲小学校 10年分の思いのリレー！ リングプルを集め、車いす2台寄贈

2月20日、八雲小学校児童会と6年生の「キャップル隊」から車いすが八雲町シルバープラザ、八雲総合病院へ寄贈されました。この車いすは、ボランティア委員会と6年生の総合的な学習の時間で結成されたリングプルを集める「キャップル隊」の取り組みなどで、10年をかけて集めたリングプル約1,200キロを車いす2台と交換したものです。

児童代表の多田結音さん、尾江璃々花さんは「みんなで協力して集めたので、車いすを必要とする人のために役立ててほしい」と、各施設で岩村町長と三田病院長に手渡しました。

岩村町長、三田病院長からは「先輩たちから続く思い、みんなで力を合わせることの大切さを感じました。職員も力を合わせてこれからも努力したい。大切に使います」と感謝の言葉を送りました。



アイヌ民族の文様をつくってみよう！ 少年文化財教室

3月11日、落部町民センターにて八雲町郷土資料館主催で、初の少年文化財教室が行われました。参加者は、アイヌ文様の図案を参考に折り紙を重ねてはさみを入れ、しおりや台紙などを作成しました。参加者は「折り紙で重ねてできあがるのが面白い。細かいところにはさみを入れるのが難しかった」とできあがった作品を手に話しました。

今後、郷土資料館では、落部での文化事業のほか、アイヌ文化を学ぶ事業を増やしていく予定です。



西アフリカのビートを感じ、 パーカッション体験！

山崎小学校 セネガル出身の講師と国際交流

3月13日、山崎小学校にて総合的な学習の時間を利用し、海外の文化、国際交流の大切さを学ぶため、日本や世界で活躍するセネガル出身のアフリカンパーカッションリスト、ママドゥ・ロー(Mamadou LO)氏を講師に招き授業を行いました。今回の講師は、同校で勤務する職員が青年海外協力隊でセネガルに行っていたのが縁で来校することとなりました。ママドゥさんと児童は、英語を用いた交流やアフリカンパーカッションのコンサート、ジャンベ(太鼓)などさまざまな楽器体験などを通しアフリカの文化を楽しみました。



鮭の稚魚 ユーラップ川からベーリング海まで大航海！ 鮭の稚魚・放流観察会

3月25日、国立八雲さけます事業所とユーラップ川上流域(鮭誕橋)でユーラップ川自然体験学習鮭の稚魚観察会が行われました(主催：教育委員会)。参加者は、昨年の秋に採卵し誕生した約5cmほどに育った稚魚を放流しました。八雲から放流された稚魚750万匹は、北太平洋・ベーリング海まで海遊し、3年～4年後にはふるさとのユーラップ川まで大きくなって帰ってきます。

